

| | | | |
|-------|--|------|-----|
| 授業科目 | 中国語 1 | 担当教員 | 姚 瑶 |
| 必修の区分 | 選択 | | |
| 単位数 | 1 単位 | | |
| 授業の方法 | 講義 | | |
| 開講年次 | 1 年 第 3 クォーター | | |
| 講義内容 | <p>この講義は、中国語を初めて学ぶ人のための基礎的クラス①であり、「聞く力」と「話す力」の向上をさせるためのものである。</p> <p>①日常生活でよく出会う場面を取り上げて、適切な言い方ができるように、更に初心者でも中国人とコミュニケーションが取れるように演劇的手法を取り入れた会話練習を行う。</p> <p>②会話文例で学んだ表現を使い、多くの練習問題を通して、口慣らしをし、会話の基礎を固める。</p> <p>③耳の練習を重ね、耳から覚えることによって、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>④普段のスピードで話す中国人の会話を取り入れることによって、入門段階から自然な中国語に対応できるようになる。</p> | | |
| 到達目標 | <p>①中国語の母音と子音を正しく発音・聞き取りができ、ピンインを用いて表記できる。</p> <p>②初歩的な中国語でコミュニケーションができるようになる。</p> | | |
| 授業計画 | <p>第 1 回 ①オリエンテーション②名前の練習③中国という国 (1)</p> <p>第 2 回 ①発音編 (声調、単母音) ②中国という国 (2)</p> <p>第 3 回 ①発音編 (子音) ②中国という国 (3)</p> <p>第 4 回 発音編 (複母音)</p> <p>第 5 回 発音編 (鼻母音、拼音総復習)</p> <p>第 6 回 中国映画鑑賞</p> <p>第 7 回 第 1 課 自己紹介</p> <p> </p> | | |

| | |
|----------------|--|
| | 第 11 回 総復習 第 12 回 定期試験 |
| 事前・事後 学習 | ・次の講義の前に、配布したプリントや参考資料を用いて前回の授業内容を復習のこと。 ・毎回、授業の開始時に 10 分程度の小テスト(リスニング or 筆記)を実施する。前回の授業内容について復習しておくこと。 |
| テキスト | 『〈最新版〉1 年生のコミュニケーション中国語』 著者：劉穎 監修：塚本慶一 出版年：2016 年 出版社：白水社 |
| 参考文献 | |
| 成績評価 の 基 準 | 授業態度(出席・発言等) (30%) 小テスト (30%) 定期試験 (40%) |
| 履修上の注意 履修要件 | 原則として、20 分を超える遅刻の場合は、欠席扱いとする。 欠席回数が 4 回以上(4 回を含む)の学生は成績評価の対象外とし、単位を修得できない。 |
| 実践的教育 | 該当しない。 |
| 備考欄 | 受講者のレベルや人数によって講義の内容や計画が変わることがある。 |